

岩沼市長から南アフリカへの感謝メッセージ

3月11日の東日本大震災において大きな被害を受けた岩沼市(宮城県中央部)では、震災直後にレスキュー・サウス・アフリカが救援活動を行ったほか、ドラムパフォーマンスグループである「ドラム・カフェ」が小学校等で慰問を行うなど、南アフリカから多くの支援が行われました。

このたび、南アフリカの支援への感謝の手紙が井口経明岩沼市長から届きましたので紹介いたします。

南アフリカの皆さんのご支援に感謝

大震災直後、南アフリカ共和国のレスキュー隊の皆さんには被災地においでになり、救援活動にご尽力いただきました。そして、いち早く岩沼市内の避難所を訪問し、激励をいただきました。岩沼市では、周りの自治体に比べて人的な被害等が少なかったこともあってか、震災直後は余り報道されず、著名人などの訪問もほとんどありませんでした。それだけに、外国の方、それも遠くアフリカから慰問と激励においでいただいたことはとても嬉しく、有り難く感じました。ワールドカップの公式ボールと同じデザインのミニサッカーボールのプレゼントまでいただきました。

それから約半年後の10月上旬には、公益財団法人プラン・ジャパン主催の「みんなで笑顔！プロジェクト」で、南アフリカの太鼓奏者が当市を訪れていただきました。当市の小学生と一緒にジェンベの演奏を行う催しを開催していただいたのですが、児童達はとても楽しそうに演奏していたようで、きっと震災で傷ついた心を癒してくれたことでしょう。

先日、被災地支援をされている加藤登紀子さんの素晴らしいコンサートに岩沼市民の方々とお招きいただき、加藤さんが南アフリカにご訪問されると伺いました。南アフリカとのご縁を感じ、南アフリカとの友好関係を大切にされている加藤登紀子さんにこのメッセージを託しました。

おかげさまで他に先駆けて復旧復興に努めている最中であり、今後ともご声援を胸に一日も早く市民の笑顔が戻るよう努めて参ります。ありがとうございます。

平成23年11月4日
岩沼市長 井口 経明